

# 赤神山

赤神山  
(あかがみやま)  
赤神山とは、太郎坊大神様がお鎮まりになる近江国高天原、すなわち太郎坊山の御名です。



↑ 太郎坊宮HP ↓

発行日 令和三年十二月三十一日  
題字 陸軍大将 一戸兵衛  
発行者 太郎坊宮社務所  
東近江市小脇町二二四七番地



◆ 所蔵名品紹介⑩  
『またら唐津水指』 (伝来不詳)

## ご挨拶

太郎坊・阿賀神社宮司 奥田素之

輝く新玉の年を前に、崇敬者各位には  
愈々ご清祥の御事と存じます。

来る令和四年は、当神社の創始とも関わり深い聖徳太子様の薨去より一四〇〇年を数えます。これを契機とし、当神社と同じく聖徳太子伝承を有する近隣十社寺が協同し、その遺徳を顕彰する取り組みを進めています。

数ある聖徳太子様の偉業の中でも『十七条憲法』制定は特に高名なものです。第一条の「和をもって貴しとなす」は、調和の大切さを説いたものとして良く知られています。『十七条憲法』全文を通観すると、時を越えた聖徳太子様が、我々に「人の道」を指し示しておられるように思えてなりません。

例えば第九条は「まことはこれ、義の本なり。事ごとにまこと有れ (誠実こそ

正義の根本である。何事にも誠実でありなさい)」と諭します。次の第十条は「この怒りを絶ち、おもて怒りを棄て、人の違を怒らざれ」から始まり、無用な怒りを抱くことを戒めます。併せて、他人の意見や意見を尊重し、思いやりを持って振る舞うことを勧められます。更には「自分が優れてるわけでも、他人が劣っているわけでもない。共に人であり、優劣など存在しない。お互いに秀でた部分と苦手な部分があることを知り、お互いに誤りが無いかを振り返る心掛けが大切だ」と続きます。

この条文に限らず『十七条憲法』は、私たちが心に留めおくべき事柄で満ち満ちています。聖徳太子様に縁深い一四〇〇年の節目の年にこそ、示される「人の道」を省み、薄らぎつつある「思いやりの心」を取り戻したいものです。

令和四年は寅年。力強く、しなやかで美しい虎が司る一年です。目指すべきものへただひたすら駆け抜ける虎の如く、思いを定めて参りましょう。

社務日誌 (抄)  
参集殿日誌 (抄)

七月  
七夕祭  
合祀祭  
献茶祭  
千日大祭

木製鳥居第一期完工奉告祭  
東近江ロータリークラブ様  
例会

女子硬式野球チーム

東近江バイオレッツ様

全日本選手権大会必勝祈禱

時計台地鎮祭

抜穂祭

観月祭

近江の聖徳太子魅力発信事業

ライトアップイベント

聖徳太子ゆかりの十一社寺

霊跡御朱印巡り 開始

三日月大造滋賀県知事 参拝

東近江市観光協会様

役員研修会

東近江青年会議所様

例会・研修会

木製鳥居第二期完工奉告祭

小寺裕雄衆議院議員 参拝

東近江市民泊事業者様

現地研修会

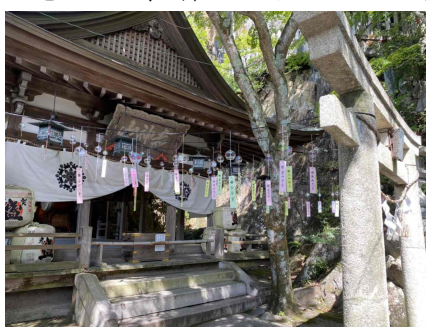
お祭り・神事のご報告

新型コロナウイルス感染症拡大により、滋賀県に緊急事態宣言・蔓延防止等重点措置が発令されたことを受け、一部内容を変更して行いました。

◆千日大祭

祭事の内容を一部縮小し、実施しました。清い音色で災いを払う「ふうりん飾り」も数多くの奉賛を頂き、涼やかな音が境内に響き渡りました。

恒例の奉納花火はいわゆる「三密」回避のため、昨年同様サプライズかつ短時間での催しとなりました。神様の御心を御慰め申し上げるべく、崇敬者の方々から奉げられた花火が夜空を彩りました。



◆時計台完成

愛知県・丸徳産業株式会社様等より、中腹駐車場祈禱殿脇の丘陵地に時計台を奉納頂きました。同社久納昇辰会長（当社社責任役員）に対しては、今回の奉納及び積年の顕著な功労・功績を特に顕彰し、神社本庁より特別功労章が授与されました。



◆木製鳥居完工奉告祭

かつて立ち並んだ参道鳥居再興を目指し、皆様に寄進をお願い致した「木製造鳥居」完工に伴う奉告祭を行いました。建立された鳥居の清祓を行い、奉納者各位に尚一層の御加護があるよう、祈願しました。



日本ラグビーフットボールリーグ

NTTドコモ

レッドハリケーンズ様

必勝祈禱

滋賀県神社庁八日市支部様

大麻神札暦等頒布始祭

有村治子参議院議員 参拝

十一月

秋季敬神講社大祭

太郎坊宮前駅竣工式典

一願成就社報恩祭

東近江青年会議所（JCC）様

女子アスリート

トークショーイベント

献菊祭

東近江らしいさなたびいち

特別なおまもりづくり体験

注連縄奉製式

新嘗祭

朝日放送テレビ様

十二月

「相席食堂」取材

お火焚大祭

東近江プレミア・

ウエルネス・ツアー様

体験講座

毎月

師走大祓式

除夜祭

十五日 古神札等焼納祭

二十三日 月次祭

二十八日 赤神不動尊月次祭

◆太郎坊宮前駅リニューアル

近江鉄道・太郎坊宮前駅の改修工事が終わりました。記念式典が行われました。駅舎およびロータリーの整備により、利便性も向上。当神社参拝の表玄関として、ご利用ください。



◆JCC活動に協賛しています

地域発展に尽力される東近江青年会議所（通称JCC）に協賛し、グッズ製作や協働活動などを行いました。



→コラボキャラグッズ



←当社で行われた女子アスリートのトークショー

↑当社がチェックポイント

のスタンプラリー。アプリで参加できます。

頑張れ！

東近江バイオレッツ！

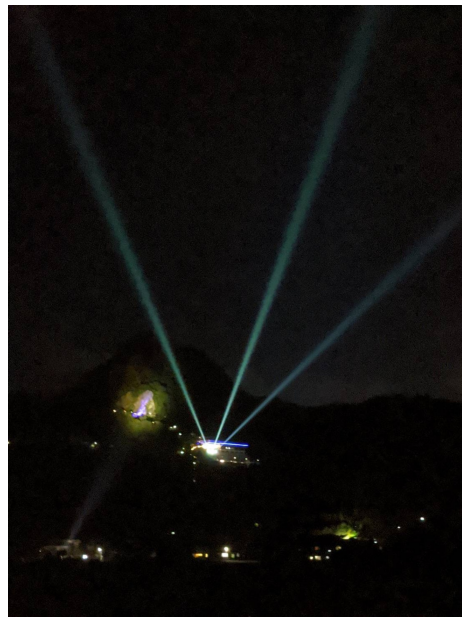
東近江市を拠点に活動する、社会人女子硬式野球チーム・東近江バイオレッツ。その選手団が太郎坊宮を参拝し、必勝祈願をされました。特大の勝手を手に携えて挑まれた「全日本女子硬式野球選手権大会」では、同大会チーム最高位となる3位という結果を残し、見事銅メダルを獲得されました。

平成三十年から本格的に活動を開始され、地域に根付いたチームとして親しまれる東近江バイオレッツ。益々の躍進をお祈りします！



聖徳太子一四〇〇年祭のイベントがスタートしました！

令和四年から東近江地域一帯で始まる「近江聖徳太子・魅力発信事業」。本番にさきがけた事前イベントが、十月一日より始まりました。当神社では聖徳太子の威徳を現すレーザービームライトアップを実施。事業の幕開けを広く知らしめました。



このイベント初日には三日月滋賀県知事が視察を兼ねて参拝され、魅力発信事業の概要を宮司が説明。地域の発展に資するよう、当神社も力を尽くすこと等をお約束しました。



また、聖徳太子伝承を有する近隣十一社寺による「ご朱印巡り」も始まりました。巡拝を通じて地域の魅力を再発見して頂くことを目的としたもので、さっそく多くの方々が足を運び、地域で語り継がれる「聖徳太子伝承」に思いを馳せておられます。



→当社で授与中のご朱印

↑東近江と聖徳太子パンフ。かわいいネコ達が教えてくれます！



⇒ここから見られます。

◆下のQRコードから、近江聖徳太子魅力発信事業のパンフレットがダウンロードできます。



当時、国家国民のための寺院建立を計画していた聖徳太子は、大寺院に相応しい瓦を焼成すべき良地を求めて出立。最終的に東近江の瓦屋禅寺（下写真）へ辿り着かれます。



その際、隣接する山から尊い神様の気配を感じ取った聖徳太子は「この山に坐す神こそ人々を守護する神だ」と感得。祈願をするために山を登り続けます。頂上に至った聖徳太子は持参した香を焚き、神に祈りをささげたといわれます。この神こそが太郎坊大神であり、当神社の起源となりました。

新しい授与品の紹介

◆むすびまもり

縁起が良い「水引の飾り結び」と、幸せを招くパワーストーンを組み合わせたお守りです。願い事別に、石の色が異なります。

※十二月上旬より  
授与開始予定。  
全六種。



◆勝武御守

太郎坊宮の神様一番の御利益「勝」のお守りです。心身ともに鍛えられ、勝利を得られるよう祈願しました。

一〇〇〇円



太郎坊さんの黒豆せんべい  
新登場です！

地産地消をコンセプトにお菓子作りをされている東近江市の「工房しゅしゅ」。福祉作業所の利用者支援に力を尽くしておられる同工房と当神社のコラボにより「太郎坊さんの黒豆せんべい」が完成しました！

開運厄除の食材として知られる黒豆を使用した少し甘いクッキー風のせんべいです（箱二〇〇円、袋七〇〇円）。



◆福祉作業所の利用者さんたちが手作業で一枚一枚作ってくださいています！

参集殿喫茶コーナー  
営業再開しました

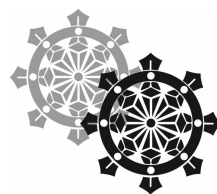
見晴らし最高の参集殿喫茶コーナーがお菓子をリニューアルし、一年半ぶりに営業再開。お参りの際にご利用ください！

※土日祝日のみの営業です



表紙解説

今号表紙は、当神社所蔵の水指です。水指とは茶席に欠かせない浄水を貯えておく容器で、本品は箱に『またら（皿まだら）唐津水指』の貼り札があります。白濁釉の上から無造作に掛けられた黒釉が「またら」の名前の所以です。佐賀県唐津の焼物で、幾分古作のようですが詳細は不明です。形状は不均衡な楕円形で、これは円筒状に成形した後、四方から力を加えて作為を持たせたためです。表面に残る大きな窪みは、力を加えた時の指跡でしょう。添えられた漆塗りの蓋は、本品独特の形状に合わせて特別に誂えられたものです。定期公開。



登録有形文化財  
保存修復事業基金

# 令和の大整備

勝利と幸福を授ける神——として信仰される太郎坊宮。その信仰は非常に古く、人々は一四〇〇年以上も前からこの地で神様を祀り続けてきました。江戸時代には「太郎坊信仰」が広がりを見せ、多くの崇敬者が競って参拝に訪れたといわれます。

現存する太郎坊宮の建造物は、こうした歴史を経て今に伝わるものです。その価値が認められ、平成三十年には国の登録有形文化財となりました。

こうした太郎坊宮の歴史を物語る文化財建造物を末永く維持し、保存活用するために創設されたのが、この「令和の大整備」基金です。

本基金は皆様から寄付された浄財を積み立てることで、太郎坊宮の建造物を、この先何世紀にも亘って伝え残すことを目的としています。御神縁深き各位のご支援をお願い申し上げます。



## ◆寄付金額・口数

・ご芳志

※寄付の金額や回数に決まりはありません

## ◆お申し込み方法

- ・太郎坊宮内の各受付所 または
- ・左記の金融機関口座へのご送金

## ◆寄付金受け付け口座

・滋賀銀行

八日市支店 普通 843694

宗教法人阿賀神社（アガジンジャ）

## ◆その他

- ・ご寄付を頂いた方は神庫収蔵台帳に記名のうえ、永久保管致します
- ・金一万円以上のご寄付を頂いた方は、境内にお名前を掲示致します

## ◆お問い合わせ先

TEL:527-0091

滋賀県東近江市小脇町2247番地

太郎坊宮社務所内

『令和の大整備 基金事務局』

TEL:0748-23-1341

FAX:0748-25-0787

— 神様への感謝の気持ちを形にして —

各種奉納のご案内

太郎坊宮の神様にお願ひ事をして、それが叶ったとき・・・

「神様、ありがとうございます」

— という気持ちになりませんか —

神様へ「ありがとうございます」の思いをお伝えすることを、お礼参りといひます。

真心を込めてお礼をすると、神様にあなたの気持ちが届くはず。

その思いを込め、太郎坊宮の神様がお使いになる品々をささげていただくご案内です。

◆**狛犬（こまいぬ）**

神域の守護者。石造。ご希望のお名前を彫刻します。一基三十八万円です。

◆**燈籠（とうろう）**

御明かりを捧げます。石造。ご希望のお名前を彫刻します。一基三十五万円。



◆**玉垣石（たまがきいし）** 神域の境界。石造。お名前を彫刻します。五万円。

◆**三方（さんぼう）・土器（どき）** 類

神様がお使いになる食膳器台など。お名前を筆記します。五千円より。

◆**御鏡餅（おかがみもち）** 新年を祝して、神様へ奉るお鏡餅。三千円より。

神様へ奉るお鏡餅。三千円より。

◆**神酒（おみき）** 神様が召し上がるお酒。二千円より。

二千円より。

◆**日供（にっく）** 毎朝、神様へ祈りと共に奉げるお食事。年間一万二千円。

奉げるお食事。年間一万二千円。

◆**献灯（けんとう）**

毎夜、神様へささげる清火の明かり。四千五百円より。

※記載品目以外での奉納も承ります



毎月祈禱

毎日祈禱 ご案内

「神験即現（しんげんそくげん）、尊い御利益がすぐに現れる」として讃えられる太郎坊大神様のご加護を願われる方のため、毎日または毎月、神主がご祈禱を致します。

◆**毎日祈禱（まいにちきとう）**

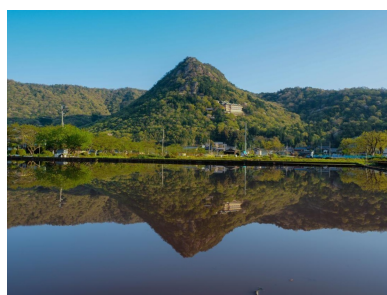
神主が毎朝ご祈禱をし、大神様のご加護があるよう祈ります。

※年間の祈禱料・三万六千五百円。

◆**毎月祈禱（まいつききとう）**

神主が毎月ご祈禱をし、大神様のご加護があるよう祈ります。

※年間の祈禱料・一万二千円。



# 新春

はつもうでのご案内



## 感染症を防ぐために

◆ 神社が行う対策

- ① 職員の検温・体調検査
- ② 職員のマスク着用
- ③ 手指消毒液の設置（各所）
- ④ 空気除菌剤の設置（各所）
- ⑤ 空気清浄機の設置（室内）
- ⑥ 案内による感染症対策の啓発
- ⑦ 水柄杓・鈴緒の撤収
- ⑧ 時期をずらしたお参りの推奨



※十二月二十五日～一月十五日まで  
初もうで特別対応を実施予定

◆ 初もうでにお越しの皆様へ、ご協力を  
お願いする対策

- ① 体調不良の時は、出かけない
- ② マスクをつけて、出かける
- ③ 大きな声で会話をしない
- ④ 他の人と十分な距離を保つ
- ⑤ 手指消毒液を積極的に使う
- ⑥ お守りは、購入する物だけ触る
- ⑦ お参りの時期をずらす



（十二月二十五日～一月十五日頃）

## 年始の受付時間

十二月三十一日二時～ 〇時迄

一月 一日	〇時～十九時頃
二日	八時～十八時頃
三日	八時～十八時頃
四日	八時～十七時頃
五日	八時～十七時頃



## 施設案内（下図をご覧ください）

① 本殿

※お参りのみ（各種祈禱は拝殿）

② 拝殿

※各種ご祈禱・受付はこちら

③ 参集殿（団体ご祈禱・ご朱印等）

④ 祈禱殿（ご祈禱・おまもり等）

第一駐車場（お手洗い）

⑤ 授与所（おまもり・おみくじ等）

⑥ 第二駐車場（新設）

⑦ 第三駐車場（寺前）

⑧ 第四駐車場（参道登り口）

⑨ 第五駐車場（参道登り口手前）

⑩ 第六駐車場（神田前）

⑪ 第七駐車場（近江鉄道駅前）

◆ 混雑緩和のため、ご祈禱の受付場所を変更します。  
 ◆ 本年は、本殿ではなく拝殿でご祈禱を行います。  
 ◆ 混雑緩和のため、各所で一方通行規制を行います。  
 ◆ 警備員の誘導に従ってください。  
 ◆ 山道ドライブウエーの瓦屋寺T字路より先は、相互通行です。対向車にご注意下さい。  
 ◆ 体調がすぐれないお方のお参りはご遠慮下さいませよう、お願い申し上げます。

